

日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center



2017.8 第34号



日光医療センターとSL大樹（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（日光市立三依診療所）	2
部門紹介（放射線部）	3
健康講座を開催いたしました	4
かるしおレシピをご紹介します	5
「連携医療施設の証」について	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 日光市立三依診療所

日光市立三依診療所は日光市最北部に位置する三依地区（三依地区は、国道121号線の日光から会津に向かう途中の五十里・独鈷沢・芹沢・中三依・上三依・横川という6つの集落（人口は約500人）にあります。



無医村地区であった三依地区の中三依

に日光市が設置した診療所で、指定管理者制度※により当センターが開院時（平成18年4月）から管理・運営し、同地区における地域医療体制の充実、公衆衛生の向上及び健康増進に努めています。



診療所は木造平屋建で、診療所内には、診察室、処置室、事務室等が設置されています。



診療は毎週木曜日、医師1名、看護師1名、事務員1名の3人体制で、内科的疾患を対象とする診療を行っており、さらに、日光市からの委託を受け、インフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチンの予防接種も実施しています。また、三依自治会連合会が中心となり、住民有志のボランティアのご尽力による患者送迎サービスが実施されています。



【※指定管理者制度とは…】

地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設（地方公共団体が設置している体育・文化・社会福祉・観光施設など）の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度です。

日光市立三依診療所は、本年3月で指定期間が満了となりましたが、さらに平成34年3月31日までの5年間、日光市から再度指定をいただきましたので、引き続き、当センターが同診療所を運営してまいります。

【診療日・診療時間等は下表のとおりです。】

診療科目	内科
診療日	毎週木曜日 ※祝日・開学記念日（4/23）・年末年始（12/29～1/3）は除く
診療時間	午前 10:00～12:00 午後 13:00～15:00
管理者	伴場 信之（日光医療センター糖尿病・内分泌内科）
アクセス	国道121号線沿い日光市三依支所のとおり
電話番号	0288-79-0321 ※診療日のみ対応

【三依診療所の実績】

	H.18年度	H.19年度	H.20年度	H.21年度	H.22年度	H.23年度	H.24年度	H.25年度	H.26年度	H.27年度
診療日数（日）	48	49	51	49	49	49	50	51	51	50
患者数（人）	651	707	698	693	698	804	772	723	695	591
1日平均患者数（人）	13.6	14.4	13.7	14.1	14.2	16.4	15.4	14.1	13.6	11.8

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶放射線部

【放射線部】

放射線部は、病院1階正面玄関の突き当たりであり、診療各科からの依頼をもとに様々な装置を使い、外来・入院患者様の検査、診断および治療を行っています。

放射線部のスタッフは、放射線診断医1名、診療放射線技師12名、受付事務2名、看護師11名（うちインターベンションエキスパートナース2名）・看護補助1名（内視鏡部と兼務）で業務を行っており、緊急検査の対応は日勤・当直業務にて、24時間体制で行っています。



【主な業務】

主な放射線部の業務は以下のような装置を使用して行っています。

一般撮影装置（胸部・腹部・骨の撮影）2台・乳房撮影装置1台・骨密度測定装置1台・透視撮影装置（消化管、泌尿器、関節・脊椎の造影検査）2台・CT装置1台・MRI装置2台・血管造影装置（心臓カテーテル専用、胸腹部多目的）各1台・ポータブル撮影装置（病棟での撮影）3台・外科用透視装置（手術室で使用）2台

うちMRIに関しては、昨年度後期より2台目のPhilips社の静磁場強度1.5テスラのIngenia CX 1.5Tを導入し、冠動脈MRAやDWIBSなど今まで行えなかった検査も行っております。1台目の装置は開院してまもなくの導入でしたので、10年の技術の進歩を享受しております。ぜひご利用ください。



放射線部は高度先進医療を推進する上で最も重要な部門の一つです。

当放射線部では、患者サービスの一環として高度先進医療の提供・診断精度の向上だけでなく、被ばくの低減および検査時間の短縮など、「患者様にやさしい医療」を目指してスタッフ一同それぞれの専門性を生かして頑張っています。



患者待合通路には、検査に対する注意事項や検査説明の掲示物が有りますので待ち時間の間にぜひ一読下さい。

健康講座を開催いたしました。

平成29年7月18日に(一社)日光市観光協会鬼怒川・川治支部、鬼怒川・川治温泉旅館協同組合に共催をしていただき、鬼怒川・川治温泉旅館の従業員を対象とした健康講座を開催いたしました。

当日は20名の方が参加いたしました。

タイトル	担当医師	診療科名
下肢静脈瘤と血管の病気について	松下 恭	心臓・血管外科
形成外科って?? ～こんなことやっています～	長谷川 弘毅	形成外科
女性になりやすい手の病気について	長田 伝重	整形外科



平成29年7月29日に川室公民館にて「みんなで考える健康講座」を開催いたしました。

当日は27名の方が参加いたしました。

タイトル	担当医師	診療科名
最近の血管外科診療について	松下 恭	心臓・血管外科
椎体骨折に対する椎体形成術	森平 泰	整形外科



地域の皆様を対象に行う健康講座は身近な疾患の治療法や予防法など今後も実施していく予定です。皆様からのご意見ご要望がありましたら、是非お聞かせ下さい。

地域連携医療部 TEL 0288-76-1717

かるしおレシピをご紹介します ~当院で2016年11月から入院患者様向けの特別食（心臓食・糖尿病食・透析食・たんぱく調整食）を実施しています。

暑い季節になりました。

冷たい麺類が登場するという家庭も多いでしょう。

麺類の1食あたりの塩分は3～8gのものが多く、これでは「※1日塩分6g」は遠い夢。酸味をきかせて、しょうゆの量を減らす、具材もハム（加工品）を豚肉や鶏肉や牛肉にすることで減塩すると、1食塩分2gの食事に近づきます。野菜もたっぷり添えて暑い夏を乗り切りましょう。

今回も当院で提供している「かるしおレシピ」をご紹介します。

※1日塩分6g未満

2004年に高血圧治療ガイドラインが改定されて、治療食は1日塩分6g未満となりました。

魚のバター焼き

塩分

0.9g

エネルギー

203Kcal



〔材料〕(1人分)

A	〔	生ます（生鮭）	… 60g
		かつおだし汁	… 30cc
		しょうがすりおろし	… 適量
		食塩	… 0.2g
		白こしょう	… 少々
B	〔	バター	… 5g
		ぶなしめじ	… 10g小分け
		まいたけ	… 30g小分け
		季節の野菜	… 適量
C	〔	ブロッコリー	… 20g
		減塩醤油	… 小さじ1
		レモン	… 20g

〔作り方〕

- 1 Aをビニール袋に空気を抜いて入れ、1時間浸す。
- 2 Aの汁気をとって、塩・こしょうをする。
- 3 フライパンに油を少量加えて、Aを焼いて、バターを入れる。
- 4 フライパンでBをから煎りする。
- 5 お皿に焼いた魚をのせて、野菜を添える。レモンと減塩しょうゆをかけて召し上がれ。

※減塩醤油のかけすぎ注意！

バターの風味を味わってください！^_^



かるしおポイント！

★生の魚を使用する

店頭には塩鮭（甘口・辛口）や塩タラが並んでいることも多いですが、生の魚を購入することをおススメします。塩鮭・塩タラ（甘口：塩分2g）、塩鮭（辛口：塩分4g）あります。

続 国循の美味しい！かるしおレシピ 独立行政法人国立循環器病研究センター著

獨協医科大学日光医療センター「連携医療施設認定」について

獨協医科大学日光医療センター 地域連携医療部

当センターでは、患者様が安心して医療を受けて戴けるように、日頃より多くの患者様をご紹介頂いている医療機関と協力施設の提携をさせて頂くことになりました。

協力施設へは当センターより『連携医療施設の証』の交付を順次させて頂く予定です。これは地域連携医療がさらに充実し強固なものにすることを、目的としており、期間は5年間で、現在、日光市・塩谷町・矢板市・宇都宮市の92施設を対象に協力施設としてお伺いをさせて頂いています。近日中に、当センターのホームページに連携医療施設名を掲載させて頂き、リンクを設置する予定になっておりますので、そちらもご覧ください。



見本の「連携医療施設の証」

当センターと一緒に働いてみませんか？

平成30年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※平成29年度採用についても随時対応いたします。

編集後記

いよいよ8月10日より東武鬼怒川線 下今市駅から鬼怒川温泉駅まで「SL大樹」の運行が始まります。心待ちにされている方もいらっしゃることでしょう。この日光医療センター通信も皆様に待ちどおしいと思っていただけるように、わかりやすく、より当院を知っていただけるような広報誌にしていきたいと思っていますので、宜しく願い致します。暑い季節になってまいります、体調を崩しやすい時期ですので皆様お体には御留意下さい。

(M.H)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第34号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日/平成29年8月★日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

募集サイトはこちら

<http://dokkyoika-daigaku.disc-chc.jp/nikko>

または、右記のQRコードを読み取り

アクセスして下さい。

